

令和5年度 磐田市立磐田中部小学校 学校評価書

評価指標・・・学校評価アンケートの項目、番号は、学校評価アンケートの項目番号
割合・・・学校評価で「強く思う」「だいたいそう思う」と回答した児童・保護者・教師の平均値(単位は%) 前年比: 緑は増、赤は3%以上減、水色は新設した指標

	重点プランと数値目標	番号	評価指標	割合	自己評価	考察・改善
知育	学び合う喜びを実感する子 ・楽しく学習(国語)に取り組んでいます。(85%) ・友達の考えを自分の考えと比べながら聞いています。(85%)	学習理解	11 基礎基本的な学力が身に付いている	90	A	○学習理解について 「わたしっていいな、あなたもいいね、みんなで深める授業」を研修テーマに、対話を通して考えを再構築する子供の姿を目指して研修を進めてきた。6年生の学力調査の結果にも基礎的な学力の定着が見られる。今後も職員の研修の機会を大切に、子供の学びを保証していきたい。 ○学習用タブレット端末の活用について 毎日タブレットを持ち帰ったり、夏・冬休みには課題にタブレット学習を設定したりするなど、活用を進めてきた。今後、授業や家庭学習において、より有効な学びの手段となるように活用方法の工夫を考えていきたい。 ○読書について 子供や教師は読書に親しむ姿に高い評価をしているが、家庭からはまだまだ不十分であった。読み聞かせボランティアや家庭の協力も得ながら、子供たちの豊かな読書環境を築いていきたい。また、読んだ本の冊数にばかり目を向けることを改め、学年相応の読書のあり方も見直すことで、子供たちが意欲的に読書をするような工夫を考えたい。
			12 家庭学習の習慣が身に付いている(学年×10分+10分)	78	C	
			13 学習内容を理解している	89	A	
		学習方法・態度	15 楽しく学習(国語)に取り組んでいる	93	A	
			23 進んで読書をしている	73	C	
		学習支援	26 友達の考えを自分の考えと比べながら聞く	85	B	
	16 教師は、よく分かるよう工夫して教えている	94	A			
徳育	自分や友達の良さに気付き、自分も相手も大切にできる子 ・気持ちの良い挨拶や返事をしています。(85%) ・自分や友達の良さに気付き、自分も相手も大切にしています。(90%)	学校生活	1 楽しく学校に通っている	94	A	○学校生活や良さの気付きについて 「子供が楽しく学校に通っている」という質問に対し、多くの児童・保護者・教師が「そう思う」と回答していることに、学校が子供たちの居場所として確かな役割を果たしていることに安心感を覚える。また、「わたしっていいな あなたもいいね みんなのために」の合い言葉(学校教育目標)が児童に広く浸透している。行事の振り返りや授業における学びの視点にもなってきた。来年度も、子供たちの自己肯定感や自己有用感を高めるように、学府で連携しながらレジリエンスの育成を目指して教育活動を進めていきたい。 ○挨拶について 挨拶については、「もう少しできるといい」という意見が校内外で多い。しかし、子供たち自身の評価は低いものではない。教師や保護者が求める「進んで気持ちのよい挨拶ができる姿」を伝えるとともに、子供たち自身にも挨拶の価値や必要性を考えさせていく。 ○歌うことについて 150周年式典と合わせて行った歌声発表会は、多くの保護者や地域の方の参観もあり、子供にとって思い出深く自信を付ける場となった。来年度はより一体感を高めるため、全校児童と保護者の前で歌う発表会の開催を検討していきたい。
			3 異学年交流に、生き生きと楽しく活動に取り組んでいる	78	B	
			5 進んで声を出し、歌うことを楽しんでいる	90	A	
			6 学級(学校)には、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある	90	A	
		児童理解	7 教師は、子供のことについての相談に適切に応じている	95	A	
			17 教師は、子供のことを理解して指導にあたっている	94	A	
		人間関係作り	2 相手の気持ちを考えた、あたたかな言葉づかいをしている	88	B	
			8 進んで気持ちのよい挨拶をしている	73	C	
			27 自分や友達の良さに気付き、大切にしている	91	A	
体育	心身ともに健康をめざす子 ・運動のめあてに向かって努力、チャレンジしています。(90%) ・体を動かすことを楽しんでいます。(90%) ・バランスよくミニやごをちゃんと食べています。(90%) ・自分の健康を守るために行動できています。(90%)	運動	28 運動のめあてに向かって努力したりチャレンジしたりしている	89	A	○運動について 4年ぶりに全校一斉で運動会を実施した。また、3年ぶりに国分寺でマラソン大会を実施することもできた。保護者が多く参観に来ることは、子供の意欲を高めることにつながり、一生懸命努力したりチャレンジしたりする姿が見られた。 ○健康について コロナ5類移行を受けて、マスクの全員着用やソーシャルディスタンスの徹底はなくなったが、手洗いやうがいといった基本的な感染症対策は続けている。コロナ禍で身に付けた感染症予防の習慣を継続しつつ、食事や睡眠といった生活習慣にもより一層取り組んでいけるよう、家庭との連携を図っていきたい。
		健康	29 バランスよくミニやごちゃんを食べている	84	A	
			30 健康に気を付けて生活しています(手洗いやうがい、歯磨きなど)	89	A	
		生活習慣	4 基本的な生活習慣が身に付いている	79	C	
			21 規則正しい生活をしている	88	B	
開かれた学校	地域と共にある学校 ・コミュニティスクールの推進 ・PTA活動の活性化 ・学校運営協議会の充実 ・いずみサポーターズ(学校支援ボランティア)	連携	9 小中一貫教育で取り組んでいることを知っている	80	B	CSCが中心となって実施した「まちなか先生」や下校見守りボランティア、掛け算九九・リコーダーサポーター、PTA役員によるマラソン大会の児童観察など、地域や保護者の方に力を借りながら、教育活動を推進することができた。子供の学びの充実のためにも、今後も協力を依頼していきたい。
			22 保護者や地域からの協力を得て教育活動を進めている	97	A	
委員が関係者評価	○子供たちとの懇談を通して、学校の設備や下校通路に不安を抱えていることが分かった。子供の安全・安心のために地域からも要望を出していきたい。 ○150周年式典を見ても、子供が主体となる取組が子供の自信につながっていると感じた。今後も子供に自信がつくような行事を行ってほしい。 ○挨拶に関する評価がやや寂しく感じるが、コロナの3年間で身に付いてしまったことは、3年かけて戻す気持ちで大人が声を掛け続ける必要があると感じた。	めを学受校け関係者ま評と備	○今回の学校運営協議会に子供を参加させたように、令和6年度は教師や保護者、地域と子供が一体となって学校運営を考えていけるようにしたい。 ○来年度も引き続きコロナ禍で控えていた活動を取り戻しつつ、今の実態に合った運営方法を模索していきたい。 ○子供の力を高めるために、学校だけではなく地域や保護者の力を活用し、開かれた学校の実現に努めていきたい。			